

中川 勲 議員（代表質問）

1 新年度予算について

- (1) 積極型予算と言うが、市民の生活に密着した要望に対する予算が少ないのではないか。
- (2) 将来的に滑川の力になるものと言うが具体的に何か。
- (3) 防災・減災に対する予算が少ないのではないか。
- (4) 「スポーツ・健康の森公園」運動施設ゾーンの整備を今急いでやらなければならないのか。今回は予算凍結して先にしなければならない事がたくさんあるのではないか。
- (5) 防災ラジオの導入について、黒部市は5,000台、滑川市が500台では少な過ぎるのではないか。
- (6) 「ほたるいかのまち滑川」をマスコミの取材を通してPRとあるが、もっと積極的に滑川市としてPRすべきと思うが。

2 市民が安全で安心して生活するために

- (1) 「本市の未来のあるべき姿を展望しつつ都市基盤の整備を推進する」とあるが、東日本大震災から1年、滑川市としても、早急に災害に強いまちづくりが必要と思うが。
- (2) 学校・市庁舎関係・各地区公民館の耐震化を急いで実施しなければならないのでは。いつ完了する予定か。
- (3) 上水道管の耐震化はどれだけ進んでいるのか。また、すべて完了するのはいつか。
- (4) 各町内会の自主防災訓練等を積極的にアドバイスできる職員を選任すべきと思うが。
- (5) 防災の拠点を消防署にしてはどうか。
- (6) 避難所として民間企業にお願いできないのか。

3 児童生徒が安全で安心して学校生活をするために

- (1) 各学校において防災教育の充実は図られているのか。
- (2) 防災避難訓練は実施しているのか。また、学校防災マニュアルは作成しているのか。
- (3) 通学道路における防犯灯の増設を各地区各町内会と連携して取り組むべきではないか。
- (4) 学校周辺・交通量の多い地域に自転車走行レーンの設置はできないのか。
- (5) 中学校において新年度から武道が必修化されると言うが、指導体制・指導員の確保は万全か。また、柔道において事故が多いと聞くが対策はできているか。

4 国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の各事業の今後の見直しについて

- (1) 財政悪化が毎年続く中、どう克服するのか。
- (2) 保険料の値上げが市民に大きな負担になるが、何か方策はないのか。
- (3) 地域間格差がますます拡大するが是正の方策は。
- (4) 介護保険においてボランティアによるポイント制の導入は考えられないのか。

5 滑川市の住宅対策について

- (1) 雇用促進住宅の購入をそんなに急がなければならないのか。
- (2) 市営駅前住宅の廃止を本気で考えているのか。
- (3) 民間アパートや民家の空き家状況を調査したのか。

- (4) 少子高齢化・人口減少社会に入っていくが、そのことも考えているのか。
- (5) 雇用促進住宅購入で人口増加はできるのか。

6 市民会館大ホールについて

- (1) 本当に耐震指標は改ざんされていたのか。なぜ今頃になってわかったのか。
- (2) 耐震指標改ざんがわかってから1カ月近くなるのに真相はまだわからないのか。
- (3) なぜ改ざんの真相が判明してから発表しなかったか。
- (4) 真相が判明しない中、Is値0.68であったから安全だと言われても信用できない。
- (5) 市民会館大ホールの改修・改築はもう考えないのか。

砂原 孝 議員（代表質問）

1 北陸新幹線開業に伴いJRから分離される並行在来線について

- ・ 市議会「並行在来線等問題特別委員会」は新駅設置を要望することを決定したが市当局はどうか、その見解を問う。

2 東日本大震災のがれき（可燃物）の受け入れについて

- (1) 県は国と連携し早急にルールをつくり、県が主導し市町村に協力を求めるべきと思うが市長の見解を問う。
- (2) 富山地区広域圏としての対応について、市の姿勢は。

3 下水道施設（終末処理場・中継ポンプ施設・下水管）の耐震対策は

4 県東部消防広域化協議会の現在までの進捗状況は

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 安全・安心について

- (1) 公共施設の耐震化について
 - ア 青志会館・働く婦人の家・庁舎の耐震診断を実施する予定だが、これで終わりか。（学校以外で）
 - イ 全部で何カ所になるのか。
- (2) 職員による自衛消防隊の結成について
 - ・ 地域の消防団や私設消防組に入った方が喜ばれるのではないかと思うが。
- (3) 護岸整備について
 - ア 滑川漁港東側より早月川までの護岸は、ひび割れも多く傷みが激しい。早急な整備を。
 - イ 海岸より海の中の海拔測量がここしばらく実施されていない。津波への対応を考えれば最新の地形を調査しなければならないのではないか。

2 養鶏場建設問題について

- ・ 当局と議会が手を組んで建設阻止に「がんばろう」と誓い合ったが、当局の動きがわからない。最近の状況はどうか。

3 資本整備について

- (1) 国道8号の4車線化は北野交差点までの予算がついたと聞いていたがどうか。またそれ以降の見通しはどうか。
- (2) 国道8号の大掛交差点からの排水路、最後の10メートルが建設されていない。その後前進したのか。
- (3) 企業進出ごとに排水問題が起きる。当局はどう考えているのか。
- (4) 笠木町内の県道富山魚津線と市道笠木海岸2号線の交差点の信号機設置は、道路開通以来要望されているが理解しているのか。

高木 悦子 議員（一般質問）

1 市長提案理由説明について問う

- (1) 財源の裏付けを明示していなかった「マニフェスト」の実現に向けて頑張るはいけないのではないかと。
- (2) 「事業の徹底的な見直し・縮減を図った」中に、削減すべきではないものがあるのではないかと。
- (3) 「子ども第一主義」とお題目を唱えていながら、教育委員会予算が前年比でことごとく減額されているのはなぜか。
- (4) 養鶏場建設問題について「建設阻止に向けて粘り強く対応」としているが、農地転用の許可が出て以降、具体的にどのような対応をしてきたのか。
- (5) 「弱者に対する虐待」への支援体制を課題としているようだが、高齢者や障がい者以外に「家庭内暴力」や「児童虐待」も社会的な問題となっていることへの対応はどうか。
- (6) 産業の振興の中に、「農業」、「水産業」、「工業」とあるのに、市民生活に活気を生み出す「商業・サービス業」や、社会資本整備、災害対策に不可欠な「建設業」の振興策がないのはなぜか。
- (7) 下水道の使用料収入で、建設費の元利償還金まで賄うことができず、不足額を一般会計からの繰入金で補っているという分析をしているが、まじめに水洗化をしている世帯が値上げによって、水洗化をしていない世帯の分も負担をしている現状をどう考えるか。
- (8) 「地域に根づいた伝統文化や音楽活動の支援を行い、市民の文化活動の振興を図る」としているが、具体的にどう支援し、どう振興を図るのか。
- (9) 財政の健全化判断比率について「着実に改善を図ってきており」としているが、平成 22 年度で起債制限団体から脱出することは上田市長が就任する前からの財政健全化計画で現状の数字は予定されていた範囲内のことで、問題は上田市長の任期が終わった後に財政悪化させた状態でバトンタッチすることではないか。一般会計から特別会計

への繰出しの増加から財政調整基金を取り崩さなければならない現状、また耐震化を代表とした社会資本の大規模修繕が迫っている中、将来に足かせを科さないと言えるか。

2 滑川市の将来をどのように想定しているのか

- (1) 滑川市をマネジメントするにあたって、将来人口の推計は重要な要素であるが、20年後30年後の滑川市の人口（年齢構成も含めて）をどのように想定しているのか。また、富山県の人口は、そして日本全体の人口は、どの様になると想定しているか。
- (2) 「三割自治」と呼ばれて久しいが、国から地方への税源移譲によりバランスは変わったというものの、平成24年度一般会計歳入に占める市税の割合は約35%にすぎない。人口減少社会の末に、地方交付税も国庫支出金も県支出金も減少していったときの備えをどう考えているか。
- (3) 平成22年度滑川市連結貸借対照表には955億円余りの有形固定資産があるが、これらの資産の維持管理・更新費用を、市民生活に支障がないように行っていけると考えるか。
- (4) 具体的に公共施設の耐震費用についてはどうか。
 - ア 昭和56年6月以前の旧耐震基準で建築された市の公共施設で、耐震改修がされていない施設の延べ床面積は合計でどれだけになるか。
 - イ これまでに耐震改修を行ってきた施設の、平米当たりの耐震改修費用は平均でどれくらいか。
- (5) 平成24年度に橋梁長寿命化修繕計画策定のための台帳が作成されるが、
 - ア 対象となっている橋梁はいくつあり、延長距離は何メートルあるのか。
 - イ 橋梁1メートル当たりの平均的な改修費、あるいは架け替え費用の概算データは持っているのか。
- (6) 道路、水道、下水道、消雪装置、いずれも市民生活に必要不可欠な施設だが、将来にわたって十分な維持管理が間違いなく行えるのか。

- (7) 滑川市だけではなく、全国の自治体が等しく 15 年前に財政の転換点を迎えたが、行政の転換は追いついていないのではないか。
- (8) 滑川市民の、とりわけ将来ある子供たちの生命を守るために、滑川市が真っ先に取り組まなければならない課題は何であると認識しているか。

中島 勲 議員（一般質問）

1 公共施設のあり方について

- (1) 国の緊急防災・減災事業を活用して平成 24・25 年度の 2 カ年で施設の耐震化を進めるとあるが。
 - ア 対象となる施設は何なのか。
 - イ 予想される事業費はどの程度なのか。
- (2) 経営感覚を取り入れた「ファシリティマネジメント」により施設の総点検をすべきでは。
 - ア 施設の利活用等を調査し、統廃合・縮小など検討すべきでは。
 - イ 施設の管理を一元化し、維持費の削減を図るべきでは
- (3) 公設民営化に対する当局の考えはどうか。

2 歴史と文化が薫るまちづくり事業について

- (1) 市の検討委員会で策定された事業計画の内容はどのようなものか。
- (2) 県の検討委員会からの指導・助言はどのようなものがあったのか。
- (3) 観光検討委員会において、歴史と文化を観光資源としているが、それとの整合性はとれているのか。
- (4) 事業推進のための予算化はどのように考えているのか。

3 並行在来線について

- (1) 調査結果の内容はどのようなものか。
- (2) 設置に対する市のスタンスはどうか。

森 結 議員（一般質問）

1 寺家小学校体育館床板補修について

- (1) 耐震指標 I_s 値を問う。
東部小学校 耐震調査業者名 体育館 校舎
田中小学校 耐震調査業者名 体育館
寺家小学校 耐震調査業者名 体育館
- (2) 寺家小学校体育館の床下の湿気による床板のせり上がりは、過去にもあったか。
- (3) 他の学校ではどうか。
- (4) 補修費の見積金額は。
- (5) 耐震工事との因果関係は。
- (6) 通気口が余りにも少ないと思われるが。
- (7) 耐震工事の完成検査はどのような事がされるか。
- (8) 補修後は通常の耐用年数が確保できるか。

2 ヨウ素剤の備蓄、配布について

- ・ 原発災害時の放射線による甲状腺がんを防ぐために有効とされる、安定ヨウ素剤の備蓄、配布について検討されているか。

原 明 議員（一般質問）

1 滑川市の観光について

- (1) ほたるいかミュージアム、タラソピア、アクアポケットを中心とした観光の推進とほたるいか海上観光について
- (2) 滑川市観光協会のあり方について
- (3) 観光特命大使を選任し営業を強化すべきではないか。
- (4) 氷見、滑川間の日帰り遊覧船ツアーについて
- (5) 観光船の購入検討を。

2 国際交流員設置事業について

- ・ 国際交流員設置事業が6月末に終了となるが、7月からの事業継続は。

3 特別支援教育推進事業について

- ・ スタディ・メイト6名 削減理由は。

4 農業振興について

- (1) 耕作放棄地の現状と対策について
- (2) 滑川産野菜の生産と消費拡大について
 - ア 滑川産安全野菜の生産と価格補償契約による効果は。
 - イ 学校給食などの滑川産野菜使用品目について

前田 新作 議員（一般質問）

1 新年度予算と財政運営について

- (1) 積極的予算と言われるが理解できない。
- (2) 「広報なめりかわ」1月号の市長の挨拶文について
- (3) 県の財政状況（特に実質公債費比率）をどう判断されるのか。
- (4) 本年度も財政調整基金を取り崩した予算になっているが。
- (5) 臨時財政対策債が本年度も多額に発行する予算になっているが。
- (6) 市民要望にこたえた予算になっていない。
 - ア 道路改良費、市道舗装費、河川改良費の三点セットの予算が少ない。
 - イ 会派「一心クラブ」や自民党滑川市連の要望に対処されていない。
 - ウ 交付税、繰越金、不用額等の余剰金を基金に積み立てるだけでなくもっと市民要望にこたえるべきでないか。

2 安全・安心なまちづくりについて

- ・ 津波や寄り回り波対策として
 - ア 浄化センターや各所のポンプ場等の安全対策をすべきでないか。
 - イ 海岸線に松を植林してはどうか。（国の海岸防災林造成事業）

3 公共料金の値上げについて

- ・ 各種保険料（介護保険料、後期高齢者保険料）が値上げされるので、下水道使用料の値上げを延期されてはどうか。

4 市民会館大ホールの耐震診断結果について

- (1) 十分に調査した後、記者発表すべきでなかったのか。
- (2) 株式会社創英建築設計事務所よりの耐震診断結果報告書を議会に提示

すべきでないか。

- (3) 調査結果はどうなっているのか。
- (4) 誰が調査しているのか。
- (5) どのような方から事情を聴いているのか。
- (6) なぜ早く調査結果報告ができないのか。
- (7) 建設当時の設計図よると耐震基準はどうなっていたのか。

高橋 久光 議員（一般質問）

1 本市の行政サービスの取り組みと対応について

- ・ 本市の指令塔や指令機関である関係部署の役割と市民サービスは・十分満足・ほぼ満足・改善の余地あり について伺う。
 - ア 市全般にわたる職員数は妥当と思うか。
 - イ 事務職と技術職及び専門職の数や割合、配置は良好か。
 - ウ 各部署ごとでの職員間及び上司、部下の意思の疎通が十分に図られているか。
 - エ 窓口及び市民の接客に対し、できるだけの教育が行われているか。

2 地域産業（観光）の取り組みについて

- ・ 地域性（観光事業や企業の特徴）を積極的に官民一体となったPRを市内外に進めるべきでないか。
 - ア 海岸から3,000メートル級の山々までが一望できる風景（ほたるいかミュージアムや市民交流プラザ展望台等の施設を含む）の取り組みについて
 - イ 世界に数少ないホタルイカ群遊海面を初めとした富山湾固有の深層水取水の取り組みについて
 - ウ 特色ある各種民間企業の把握と取り組みについて

3 姉妹都市について

- ・ 現在の長野県小諸市、北海道豊頃町、栃木県那須塩原市（西那須野町）海外ではシャンバーグ市の4市町の交流はいかに。
 - ア 現状または今後の交流について伺う。
 - イ 今後それぞれの市町との交流の頻度、または見直し新たな交流の考えを伺う。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 天然ガスパイプライン敷設について

- (1) 対応の窓口は。
- (2) メリットは。
- (3) 当局のスタンスは。
- (4) 対応は。（許可、認可、承認等の有無について）
- (5) 敷設ルート of 地域住民に対する当局の対応は。
- (6) 安全・安心の観点からの当局の見解は。
- (7) 有事の際の防災の観点から当局の対応・対策は。（具体的な対応策を）

2 市職員の教育・研修・育成について

- (1) 議会と同行の職員視察研修の実績と評価について
- (2) 議員との同行の職員視察研修の可否判断について
（判断基準、規定等について）
- (3) 職員の意識高揚・意欲向上・資質向上等の観点から、議員との同行視察研修についての今後の対応見解は。

3 北アルプス横断道路構想について

- ・ 構想の是非並びに政策課題としての位置付けについて、当局の見解は。

野末 利夫 議員（一般質問）

1 防災対策について

- (1) インフラの老朽化対策を含む「災害に強いまちづくり」に向けた工程表を策定し、維持更新のための集中投資を思い切って実施する必要があると思うが当局の見解を問う。
- (2) 防災会議等に「女性の視点」が不可欠であり、もっと女性を登用すべきと思うが当局の見解を問う。
- (3) 「被災者支援システム」の導入について十分研究したいとのことだったが、現時点での考え方は。

2 学校教育及び施設整備について

- (1) 不登校児童生徒の居場所「適応指導教室」を滑川市立図書館に設置してはどうか見解を問う。
- (2) 増加傾向にある食物アレルギーの児童生徒は何名で、その現状について
- (3) 今後食物アレルギーの児童生徒に対するの対策について
- (4) 田中小学校等の耐震化については、多機能トイレの設置を視野に整備すべきと思うが見解を問う。

水野 達夫 議員（一般質問）

1 公共施設の耐震化について

- (1) 平成 23 年 6 月定例会において補正予算計上された滑川市庁舎の耐震診断結果（Is 値）はどうだったのか。また、その結果を受けて市の見解はどうか。
- (2) 滑川市地域防災計画に記載されている 43 カ所の指定避難所のうち 14 施設が非耐震施設であると平成 23 年 6 月定例会で答弁があったが、今定例会で予算計上された耐震診断委託費ですべての施設の診断が完了するのか。
- (3) 市長の提案理由説明によれば、「耐震結果を勘案しながら国の緊急防災・減災事業を活用し平成 24 年度と 25 年度の 2 カ年で該当施設の耐震化を進める」とあったが、市庁舎を含めた施設の耐震化のスケジュールはどうか。

2 財政状況について

- (1) 「滑川市健全な財政に関する条例」が制定されて 1 年が経過するが、これまでの達成状況について市長の思いは。
- (2) 過去 10 年間の決算カードを比較してみると、
 - ア 歳出において特別会計への繰出額が年々増えているが、このことに対する今後の対応はどうするのか。また、特に下水道事業について再考するつもりはないか。
 - イ 将来の蓄えとして現在の基金の積立残高で大丈夫なのか。
 - ウ 将来債務の負担額として、地方債残高があるが、特別会計(下水道)も含めれば将来的に不安はないのか。

3 高齢化社会に対応した除排雪の今後のあり方について

- (1) 今冬においての在宅要援護高齢者等除雪支援事業の実績はどうだったのか。また、市民の方々へのお知らせは十分だったのか。
- (2) 特に旧町部において、屋根雪処理のみならず、除雪車が入らない道の除雪等に苦慮している。例えば、ある程度の積雪量になった時点で自治会等に補助する制度を導入できないか。また、除雪等をお願いしたい方とボランティアとのミスマッチの苦情も聞こえてきた。今後の高齢化社

会に対応した除排雪のあり方を考える時期ではないか。

古沢 利之 議員（一般質問）

1 TPPに参加した場合の当市への影響について

- ・ 影響は極めて大きいと考えるが、当市への影響をどう見ているか、改めて問う。
 - ア 基本的見解を再度問う。
 - イ 農業以外にどのような分野に影響があると見ているか。

2 防災対策について

- (1) 防災計画見直しの必要性は言うまでもないが、今後の予定は。国、県の計画待ちでいいのか。
- (2) 見直しに当たってどのような視点が必要と考えているか。緊急を要するものとして、例えば下記の点について検討をしているか。
 - ア 災害想定（前提）の見直し
 - イ 行政体制（災害対策本部の機能低下もありうる）
 - ウ 住民の避難対策（情報伝達、避難施設の適否、避難路の設定など）
 - エ 備蓄の拡充、物資の調達体制
 - オ 原子力災害対策

3 市民会館大ホールの耐震指標問題について

- (1) 提案理由に「市民に多大な不安を与えることになった」とあるが、何によってどんな不安を与えたと考えるか。
- (2) 市民に真実ではないデータを提供したことの認識を問う。
- (3) 事実経過を確認する。
 - ア 大ホールの耐震調査発注の時期
 - イ 調査結果の報告を受けた時期
 - ウ I s 値が違っていると判明した時期
 - エ 内部調査を始めた時期

(4) ダブルチェックが機能していない。